

# そよかぜ診療所での研修を終えて

神戸大学医学部附属病院 初期研修医  
印部 伸庸

今回は1ヶ月の間、そよかぜ診療所にて地域医療研修をさせていただきました。  
そよかぜ診療所は兵庫県朝来市の地域医療を担っている診療所です。今回は外来、訪問診療に主に関わらせていただきました。

外来では採血、レントゲン撮像、外傷の縫合や心臓エコー、頸部エコーなどに携わらせていただきました。恥ずかしながら今まで他の医療スタッフに任せきりだったことも多く、実際にやることで見えることも多くありました。特にエコーはベッドサイドで非侵襲的に多くの情報を得ることができ、ここで多くの症例を経験させていただいたことは自分の医師人生において非常に意味のあることだったと感じます。

訪問診療では様々な事情があり通院が難しい患者様の自宅まで赴き、診察やワクチン注射、創傷処置などを行いました。毎日くまなく身体所見を取ったり、納得するまで訴えを聴いたりすることは、日常の診療ではともすれば軽視しがちです。しかし今回一人一人の患者にそういった対応をすることで少しずつ信頼していただくことができたと感じます。

1ヶ月の研修で痛感したことは、今まで如何に患者の生活について想像できていなかったかということです。うまく内服薬を管理できずに飲み過ぎてしまったり、独り暮らしで寂しさを抱えながら生活していたりといった現状を目の当たりにし、外来で見ている姿が全てではないという当たり前のことを意識させられました。普段の診療ではなかなか目の当たりにすることができない、そよかぜ診療所ならではの地域医療を学ばせて頂きました。

最後になりますが、自分のような研修医に懇切丁寧に指導していただいた先生方、並びにスタッフの皆様、ありがとうございました。